

2025年度 事業計画書

2025年3月

株式会社NTTデータ

2025年度 事業計画書

1. 活動方針

次世代医療基盤法に基づく匿名加工医療情報作成事業者または仮名加工医療情報作成事業者（以下、認定作成事業者）ライフデータニシアティブの方針にあわせ、多くの医療情報取扱事業者の賛同を得て医療情報の集積を図り、次世代医療基盤法に基づく適切な運用を進めると共に、利活用者医療情報利活用事業の実績を創り上げ、事業の安定化を図るべく、認定医療情報等取扱受託事業者としての活動①②③を行っていく方針とする。

① 匿名加工医療情報の利活用事例の蓄積

次世代医療基盤法に基づく利活用事例を更に蓄積すると共に、引き続き民間企業、学術機関、行政団体からの利活用ニーズを収集し、提案することで幅広い主体による利活用を推進する。また、画像情報事業の実現と展開に向け、認定作成事業者を含めた関係者との調整を進める。

② セキュリティ等運用体制の維持、改善

次世代医療基盤法に基づく認定医療情報等取扱受託事業者として認定作成事業者を支援するとともに、委託業務の運用を適切に行う体制（組織、運用ルールなど）、情報基盤の維持を行うとともに、当該運用の徹底に必要な改善活動を実施する。

③ 改正次世代医療基盤法に関わる対応

匿名加工医療情報作成事業の活用実績を積み重ねるとともに、次世代医療基盤法の改正を踏まえ、連結可能匿名加工医療情報（公的DB連結）、画像情報および仮名加工医療情報の提供に向けた医療情報利活用基盤のあるべき姿を認定作成事業者と共に検討する。

2. 医療情報を提供する医療情報取扱事業者

※ライフデータイニシアティブ事業計画書と同様

認定作成事業者（認定医療情報等受託事業者）の認定を受け本格的な事業の展開に着手している。次世代医療基盤法で定められた安全管理基準を遵守すると共に、医療情報取扱事業者への説明など対応を継続し信頼関係を築き、多くの医療情報取扱事業者から賛同を得て次世代医療基盤法認定事業に参加いただけるよう、新規の医療情報取扱事業者に対し、事業参加の意義を訴求すると共に、新たな付加サービスの提供を拡大することで参加施設が享受するメリットを高め事業拡大を図る計画である。

2025年度に新たに参加する医療情報取扱事業者の目標値は図表1の通りである。

図表1. 契約施設数（実績/目標数）

F Y	2024 (実績見込み)	2025 (年度末目標値)
医療情報取扱事業者 (契約締結医療機関)	65	70

3. 自ら取得する医療情報の内容及び規模

4.

※ライフデータイニシアティブ事業計画書と同様

昨年度（2024年度）と同様に、電子カルテデータ（診療行為結果）・レセプトデータ・DPC調査データ、および2024年度より認定作成事業者として我が国で初めて取扱いを開始した画像情報の収集および提供にも積極的に取り組み、医療情報の利活用事業に新たな価値を図る（図表2）（図表3）。

図表2. 収集する医療情報

収集情報	収集方法
電子カルテ	医療情報取扱事業者等から直接収集
DPC調査データ	
レセプトデータ	
画像情報	

図表3：属性ごとの収集する医療情報項目

属性	内容
基本情報	患者情報、健康保険情報
診療行為	診断履歴情報、基礎的診断情報、初診時特有情報、経過記録情報
	手術記録情報、臨床サマリ情報、検歴情報、バイタルサイン 体温表、注射記録、透析、汎用処置
レポート情報	報告書情報
レセプト情報	医科入院、医科入院外、DPCレセプト
DPC情報	様式1、3、D、E、F、EF統合、Hファイル
画像情報	単純X線、CT、MRI、エコー等（DICOM）の画像情報および付帯 情報
その他情報	生活習慣情報、紹介状、処方箋

※収集する医療情報項目は医療情報取扱事業者により異なる。

また、前述の医療情報取扱事業者へのアプローチの成果として2025年度末の医療情報の提供施設（オプトアウト通知開始施設）並びに想定する収集人数（ユニーク患者数）の目標値を示す（図表4）。

図表4：医療情報取扱事業者数、収集人数規模の推移見込み

項目	2024年度 (実績見込み)	2025年度 (目標)
医療情報取扱事業者 *一定の要件を満たすオプトアウト 通知等の対応施設	60施設	65施設
収集患者数 (ユニーク患者数・累積)	273万人	365万人

5. 提供する匿名加工医療情報の内容及び提供先

※ライフデータニシアティブ事業計画書と同様

2024年度までの提供実績は、民間事業者、大学病院等研究機関を中心に計48案件の匿名加工医療情報又は統計情報の提供を実施した。

2025年度については、昨年度の実績を基に認知度の向上、新たな医療情報利活用事業者の開拓を図り、民間事業者・学術機関での活用事例の更なる蓄積を目指す。また、新たに展開を開始した医療画像情報を用いた利活用事例の創出も図れるよう提案を進めていく予定である。(図表5)

図表5：匿名加工医療情報等の提供件数（2025年度計画）

提供先	提供サービス	提供目標件数
民間企業	匿名加工医療情報・統計情報	12
	(内、画像情報)	3
研究機関	匿名加工医療情報・統計情報	5
	(内、画像情報)	1

※匿名加工医療情報の提供については、医療情報の収集状況を踏まえて計画する。

6. その他の活動

※ライフデータニシアティブ事業計画書と同様

2024年度に引き続き、次世代医療基盤法並びに認定事業の社会認知活動を継続するとともに、本事業によるデータ活用の高度化に必要な学術支援や当事業で保有する情報の質向上を図る。また、標準化への対応や認定作成事業者間の連携によって、医療情報取扱事業者からのデータ収集量の更なる加速化を図る。

- ① 本データベースを活用した論文発表に向けた支援
- ② 収集した情報の質向上、サービス向上に繋がる研究の実施
- ③ 研究機関からのデータ活用に関する各種問合せへの対応
- ④ 認定事業に関わる普及啓発の実施
- ⑤ 標準化の流れを踏まえたデータ収集方法の検討および実装の推進

以上